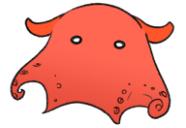


生物の形を^み観てみよう

国立科学博物館には、たくさんの生物の標本があるよ。「生物」といっても、それぞれ体の形に特徴があるね。この特徴には、どのような共通するところや異なるところがあるかな？実際に比べながら観てみよう！



節足動物の仲間にはいろいろな種類があるね。私のオススメは、エビなど同じグループ同士を比較することかな？



地球 館 1 階 21 系統広場



1 節足動物門の生物たち

節足動物門の生物から2種類を選んで、共通するところと異なるところを3つずつ挙げてみよう

	共通するところ	異なるところ
アカザエビ	<ul style="list-style-type: none"> 脚（足）に節がある 脚が左右5対ある 固い殻に覆われている 長い触角と短い触角がある 目が体の外に飛び出している 	<ul style="list-style-type: none"> 第1脚がとても長い…「テナガエビ」 第1～3脚が鋏脚になっている 長い触角が前方へ伸びている 頭胸部が細い ・尾扇が連続した弧など
イセエビ	<ul style="list-style-type: none"> 尾に節がある 体の色が赤色系である など	<ul style="list-style-type: none"> 脚の長さがすべて同じ程度 第5脚のみ鋏脚になっている（雌） 長い触角が後方へ伸びている 短い触角が枝分かれしている 一つ一つの尾扇が丸い 頭胸部が太い など



チョウやクワガタの標本のあたりが、節足動物門の展示だよ。

地球 館 1 階 21など 系統広場



2 軟体動物門の生物たち



あなたのイチオシの軟体動物門の生物は何か？選んだ理由も書きましょう。

私のイチオシは

選んだ生物の特徴に注目させましょう。

選んだ理由

例1) オオジャコガイ

他の二枚貝とは異なり、口の部分が波のような形になっているから。

例2) スイジガイ

巻き貝だけど、貝殻の端に不規則にとがった部分があるから。

例3) メンダコ

マダコとは異なり、8本の脚が膜でつながっているから。



タコ・イカや貝の標本のあたりが、軟体動物門の展示だよ。

時間があれば、日本館3階南の展示も見てみよう。





3

どうやって移動する？

系統広場に展示されている生物たちは、どうやって移動しているのかな？
体の形に注目して考えてみよう。



いろいろな生物を選んで、移動の方法を書き出してみよう。

- ・哺乳類 …足、ひれ・背骨（イルカ、クジラなど）
- ・鳥類 …足、翼
- ・魚類 …ひれ・背骨
- ・節足動物…足、羽、斧足（ふそく）、腹足（ふくそく）、
貝殻の開閉（二枚貝）



展示だけでは分からないものは、インターネットや図鑑を使って調べてみよう。

言葉だけではなく、図も入れて表しても分かりやすそうですね。



生物によって、体のつくりやその形が共通していたり異なっていたりするのなぜだろう？



感じたこと

わかったこと

考えたこと

《共通している理由》

生活している環境が同じだから。
陸上・水中・空、食べているもの、移動方法など



※表裏の関係で、どちらからの言及でもよい。

《異なっている理由》

生活している環境が異なるから。



口や歯の形など、全身ではなく体の一部に注目しても構いません。
表やイラストなど、いろいろな表現で理由を説明してみよう。



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

学習指導要領「いろいろな生物とその共通点」の「動物の体の共通点と相違点」として、無脊椎動物を扱います。節足動物や軟体動物の観察から、脊椎動物の体のつくりの特徴を比較して、その共通点と相違点を扱うことになっています。節足動物については、昆虫類や甲殻類を例に、体が外骨格でおおわれていて、節のあるあしをもっている共通点があることを理解させます。軟体動物では、あしに節がないことや、水中生活をしているものが多いことを理解させます。脊椎動物に比べ、無脊椎動物はじっくり観察する機会がなかなかないので、展示物を利用して無脊椎動物に対する興味・関心を高めさせ、動物を観察するときにはどのような点に注目すればよいかを考える力を付けさせたいものです。